

〔算数〕 小1 組 番 名前

1 (1) まえから 3ばんめ

(2) みぎから 4こまで

(3) えんぴつは みぎから なんばんめ

2

ずに なんにも かいていなくても、しき、こたえがあていれば せいかいです。

3 (1)

【ず】 ●●●●● ← ●●

(れい) はじめに5だい 2だいくると

しき $5 + 2$ こたえ 7だい

ずに なんにも かいていなくても、しき、こたえがあていれば せいかいです。

(2)

【ず】 ●●●●● → ●●●●●●●●

(れい) ももいろのはなが4ほん みずいろのはなが6ぽん

しき $4 + 6$ こたえ 10ぽん

〔算数〕 小2 組 番号

1 (1)

$$\begin{array}{r} 64 \\ - 12 \\ \hline 52 \end{array}$$

(2)

$$\begin{array}{r} 36 \\ - 16 \\ \hline 20 \end{array}$$

(3)

$$\begin{array}{r} 82 \\ - 50 \\ \hline 32 \end{array}$$

(4)

$$\begin{array}{r} 60 \\ \cancel{7} \quad 0 \\ - 33 \\ \hline 37 \end{array}$$

- ① 一のくらの計算 (けいさん) をします。
0から3はひけないので、十のくらいから1くり下げて
 $10 - 3 = 7$
- ② 十のくらの計算 (けいさん) をします。
 $6 - 3 = 3$

2

①、③

- ②は、十のくらの計算 (けいさん) で、くり下がりの1を考慮せずに計算しているのでまちがいです。
- ④は、一のくらの計算 (けいさん) で、 $10 - 3 = 7$ と計算しているのでまちがいです。

3

(れい1)

15円のおめと32円のカステラをかいます。
だいはいくらになりますか。

(れい2)

いろがみを15まいもっています。あとから32まいかきました。
いろがみは、ぜんぶで何まいになりましたか。

4

えんぴつ が 3 こ多い。

5

ア

6 cm 7 mm

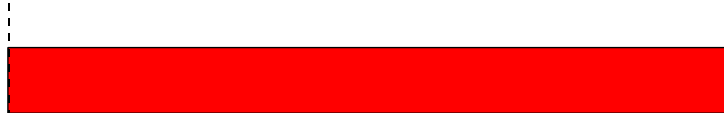
イ

1 cm 8 mm

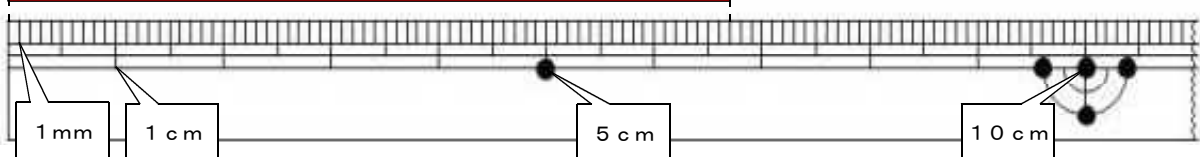
ウ

3 cm 2 mm

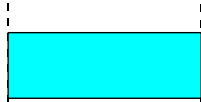
ア



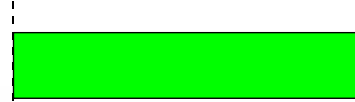
ものさしのめもりを正しく読めるようにしましょう。



イ



ウ



1 cm 8 mm

3 cm 2 mm

[算数] 小3 組 番氏名

1 (1) $3 \times 4 = 12$ (2) $3 \times 4 = 3 \times 5 - 3$
 (3) $3 \times 9 = 3 \times 8 + 3$ (4) $9 \times 6 = 9 \times 7 - 9$

9のだんの九九は、答えが9ずつふえていくので、 9×7 から9をひくと、 9×6 の答えと同じになります。

2 (1)
$$\begin{array}{r} 411 \\ \times 107 \\ \hline 41211 \end{array}$$

(2)
$$\begin{array}{r} 11311 \\ \times 14915 \\ \hline 1191218 \end{array}$$

筆算(ひっさん)は、位(くらい)をそろえて書き、一の位(くらい)からじゅんに計算します。

- ① 一の位(くらい)の計算は、3から5はひけないので、十の位(くらい)から一の位(くらい)に1くり下げて、 $13 - 5 = 8$ です。
- ② 十の位(くらい)の計算は、1くり下げたので、2から1となり、1から9は引けないので、百の位(くらい)から十の位(くらい)に1くり下げて、 $11 - 9 = 2$ です。
- ③ 百の位(くらい)の計算は、1くり下げたので、4から3となり、3から4は引けないので、千の位(くらい)から百の位(くらい)に1くり下げて、 $13 - 4 = 9$ です。
- ④ 千の位(くらい)の計算は、1くり下げたので、2から1となり、答えは1928です。

3 (1) 300
 (2) $ウ$

たけしさんが510円出したときのおつりは300円で、もらうこは100円玉が3枚になります。500円出したときのおつりは290円で、100円玉2まい、50円玉1まい、10円玉4まいとなり、510円出したときの方が、まい数としゅるいが少なくなります。

4 まちがいの説明

正しい筆算

(れい)
 一の位(くらい)は $2 - 3$ で、2から3はひけないので、十の位(くらい)から1くり下げると十の位(くらい)は4になります。
 十の位(くらい)の計算を1くり下げずに計算し、 $5 - 4 = 1$ になっているのでまちがいです。

$$\begin{array}{r} 4 \\ 1 \cancel{5} 2 \\ - 43 \\ \hline 109 \end{array}$$

十の位(くらい)は、一の位(くらい)に1くり下げたので、4から4をひいて0になります。

十の位(くらい)の計算で、一の位(くらい)へ1くり下げていることをわすれて計算していることが説明(せつめい)できていれば正かいです。

5 (1) $イ、オ$

アは、1ふくろ8こ入りのあめが2ふくろあるので、式は 8×2 になります。
 ウは、8まいのクッキーのうち2まい食べたので、式は $8 - 2$ になります。
 エは、2このチョコレートを8人にくべるので、式は 2×8 になります。

(2)
 (れい1)
 あめが12こあります。3人で同じ数ずつ分けると、1人ぶんは何こになるでしょうか。
 (れい2)
 12mのテープを3mずつ切ると、3mのテープは何本できるでしょうか。

〔算数〕小4 組 番 氏名

1

(1)

式

$$254 \div 3$$

あまりは、わる数より小さくなります。

答え

1人分は84まいになって、2まいあまる。

(2)

太郎さんの説明

まず、わられる数の百の位の6をわる数の 3 でわります。

$6 \div 3 = 2$ なので、百の位に 2 をたてます。

次に、わられる数の十の位の 2 をおろします。

$2 \div 3$ はできないので、十の位に 0 をたてます。

そして、わられる数の一の位の 7 をおろします。

$27 \div 3 = 9$ なので、一の位に 9 をたてます。

わる数の 3 とたてた 9 をかけて 27 になります。

さいごに、 27 から 27 をひくと 0 になります。

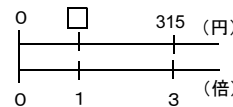
だから、商は 209 です。

(すべてできて正解)

2

式

$$315 \div 3$$



$$\begin{array}{r} 105 \\ 3 \overline{) 315} \\ \underline{3} \\ 15 \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$$

答え

105円

$$\begin{aligned} \square \times 3 &= 315 \\ \square &= 315 \div 3 \end{aligned}$$

3

2

親のラッコの体重は、子どものラッコの体重の3倍です。

4

(1)

2月から3月までの間

(2)

23度

一番高いのは8月の26度で、一番低いのは2月の3度なので、差は、 $26 - 3 = 23$ で、23度となります。

〔算数〕小5 組 番 氏名

1

30円

言葉の式（1mのねだん）×（長さ）＝（代金）を使って考えると、（代金）÷（長さ）＝（1mのねだん）なので、 $108 \div 3.6$ で求めることができます。

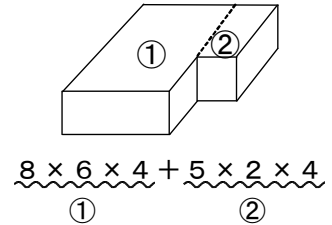
2

（解答例1）

$$8 \times 6 \times 4 + 5 \times 2 \times 4$$

または

$$5 \times 2 \times 4 + 8 \times 6 \times 4$$

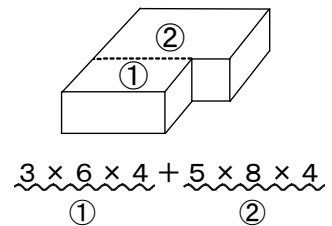


（解答例2）

$$3 \times 6 \times 4 + 5 \times 8 \times 4$$

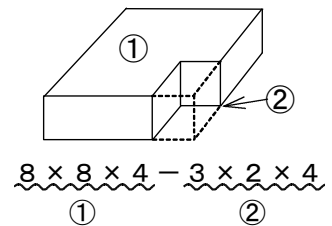
または

$$5 \times 8 \times 4 + 3 \times 6 \times 4$$



（解答例3）

$$8 \times 8 \times 4 - 3 \times 2 \times 4$$



3

3

ある数を1より小さい数で割ると、商はある数より大きくなります。また、ある数を1より大きい数で割ると、商はある数より小さくなります。

4

(1)

9.541

(2)

4.951

「4.951」と5との差は0.049、「5.149」と5との差は0.149なので、5にいちばん近い数は、「4.951」になります。

5

(1)

0.4 の場所 エ	60 の場所 ア	□ の場所 イ
--------------	-------------	------------

（0.4、60、□のすべてできて正解）

(2)

3

問題場面を図や数直線などに表すことは、問題を解決する上で大切です。図や数直線などに表すことで、数量の対応や大小を捉えることができます。

〔算数〕小6 組 番 氏名

1

$$\frac{4}{3} \times \frac{3}{2}、\frac{7}{2} \times \frac{4}{7} \text{ など}$$

分子の数が分母の数の2倍のとき、大きさが2になります。

2

(1)

1、3、4

(2)

2、4

1つの点を中心にして180°回転させたとき、もとの図形にぴったり重なる図形を、点対称な図形といいます。

※正三角形を1つの点を中心にして、180°回転させると、もとの図形とはぴったり重なりません。正三角形は点対称な図形ではありません。

3

(1)

$$x \times 8 + 3 = y$$

$$(8 \times x + 3 = y)$$

(2) ①

ウ

②

イ

ーや÷の意味から、式が何を表しているのかを考えます。

4

ア

説明にそって式と比べながら考えることが大切です。

5

イ

平行四辺形の対角線は、対応する2つの点を結ぶ直線なので、「対応する2つの点を結ぶ直線は対称の中心を通ること」を理由に、対称の中心が見つけれられる理由を説明することができます。